

シリーズ  
180万都市の課題 ④

札幌市が抱える課題について、  
市民の皆さんと一緒に  
考えていくための企画です。

# 「検証!!

## 『広報さっぽろ』の今、 そしてこれから」に 寄せられた声の紹介

11月号では、広報さっぽろの現状と課題をお知らせした上で、誌上アンケートを実施しました。そのアンケート結果と、寄せられたたくさんの声の中から一部を紹介します

総数722件

〈内訳〉

|          |      |
|----------|------|
| ・郵便      | 504件 |
| ・ファクス    | 112件 |
| ・Eメール    | 96件  |
| ・インターネット | 10件  |

※紹介しているご意見は、誌面スペースの都合から一部を抜き出して掲載しています

### 広報誌の内容

最も読みたい情報として、「講座やイベント、生活情報などのお知らせ」を選んだ人が、60%以上。

●公共施設で行われるイベントや講演会の情報を充実してほしいです。また、福祉関連の制度などは、知らない人がたくさんいると思いますので、特に分かりやすく掲載してください。

（豊平区 四十歳代女性）

●市民全員を読者層とする編集方針は疑問だ。テレビや新聞で報道される内容や市政記事は不要。読者層を絞った内容に力点を置き、肩のこらない街の情報を期待したい。

（西区・井上忠純さん 六十五歳）

●広報誌は読んでいません。個人的には、自分の知りたいことだけが分かればいいので、市からの一方的な情報は不要です。ホームページや電話対応を充実してもらった方がありがたいです。

（二十歳代男性）

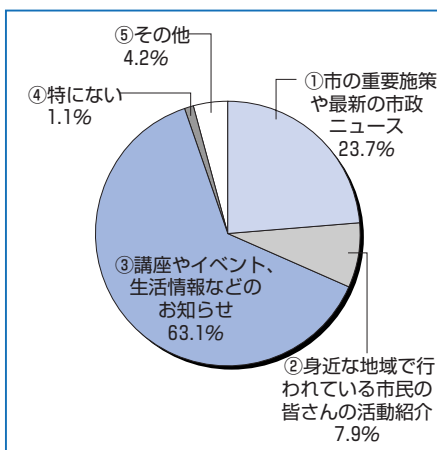
●現状では読まないところも多いので、市政ニュースや市民税に関するだけでなく、各種催しの案内などは新聞でもよいのでは。

（厚別区 五十歳代女性）

●区民のページが少なく、付録のような感じがして物足りない気がします。もう少し区の特性をアピールできるような広報さっぽろになること

### 誌上アンケート結果

問1 広報誌に掲載している情報で、最も読みたいと思うものは何ですか？あなたのお考えに近いものを一つお選びください。



を期待しています。

（手稲区 二十歳代男性）

●イベントやサークル活動など、地域の話題を豊富に取り入れ、市民の声をたくさん知ることのできる広報誌にしてほしいと思います。

（西区・横山譲さん 四十四歳）

●子供たちの作品や学校などの活動が載っているの、子供にも見せています。自分の住んでいる地域のことをもっと知ってもらうため、小学生向けの子供版広報誌を作ってはどうでしょうか。

（東区・今野孝子さん 四十一歳）